



1_ プロ野球公式戦でいなわしろ天のつぶをPR 2_ 受渡式に出席した五十嵐代表理事専務(中央)。左は在カタール日本大使館の津田慎吾特命全権大使 3_ 商談会に臨む参加者

ブランド米の販路拡大を図る

「いなわしろ天のつぶ」を国内外にPR

プロ野球の「東北楽天ゴールデンイーグルス対東京ヤクルトスワローズ戦」は6月7日、郡山市の開成山球場で行われ、オープニングセレモニーにおいて町のブランド米「いなわしろ天のつぶ」60㌔が両チームに贈呈されました。町は4月11日に楽天球団とスポーツ交流活動等に関するパートナー協定を締結しており、スポーツを通してお互いの支援と交流を深めることとしています。

また、町では6月上旬、ブランド米の販路拡大を図るため、日本貿易振興機構などの関係者らと海外での現地商談会に参加し、いなわしろ天のつぶのPRを行いました。6月1日、すでに商談が成立しているカタール・ドーハの現地販売店「モノプリ・ドーハ店」(※現地の大型スーパー)において、会津よつば農業協同組合五十嵐孝夫代表理事専務から同店のゼネラルマネージャーへいなわしろ天のつぶが受け渡されました。翌日は、アラブ首長国連邦のドバイにある日本食レストラン「トモ」において商談会が行われました。トモの鈴木佑輔総支配人は「いなわしろ天のつぶは、食味が良く粒もしっかりしており、使用について検討したい」と話しました。



1_ 猪苗代湖を背景に記念撮影をする参加者ら 2_ 朝採りのアスパラガスを提供する渡部さん 3_ つきたての餅を振る舞う曲渕大根クラブのメンバー

アウトドアの魅力を満喫

GO OUT CAMP 猪苗代 vol.3

キャンプイベント「GO OUT CAMP 猪苗代」は6月3～5日の3日間、天神浜オートキャンプ場で開かれ、県内外から多くの人が参加しました。

会場では、渡辺俊美さんやbirdさんらミュージシャンによる音楽ライブや多様なアトラクションが繰り広げられたほか、地元特産品やアウトドア用品などの出店が立ち並び、参加者はアウトドアの魅力を満喫しました。

川桁謡真鼓楽会は太鼓の演奏でステージに立ち、会場を大いに盛り上げました。また、会場内には、猪苗代観光協会による観光案内ブースのほか、町内の特産品を販売する出店も設けられました。町内の若者による「猪苗代☆食堂」の一員として出店に参加した渡部庄栄さんは「アスパラガスを販売したところ、町外の人に好評を得られてとても嬉しい。お客さんの喜ぶ顔を見ると、生産の励みにもなる」と話しました。また、曲渕大根クラブによる餅つき体験には大勢の人が参加。つくたての餅が参加者に振る舞われました。

福島県出身で「分とく山」総料理長の野崎洋光さんはアウトドア料理教室を開き、いなわしろ天のつぶやアスパラガスを使った料理を披露しました。



Pick Up

今月のイベント

アフターDC特別企画
天鏡閣「館長トークとおもてなし茶道体験」

「館長トーク」で天鏡閣内を案内する長沼さん(左)



天鏡閣は6月19日、4月から6月まで開催された「福島県観光キャンペーン2016(アフターDC)」に合わせたタイアップ企画として、「館長トークとおもてなし茶道体験」イベントを開きました。

1階の賓客食堂では、熊倉宗久社中による「おもてなし茶道体験」が行われ、天鏡閣を訪れた観光客らが茶道を体験しました。栃木県から訪れたグループに話を伺うと「抹茶を自分で点てたのは初めて。貴重な体験ができてよかった」と好評を得ていました。熊倉社中代表の熊倉久子さんは「毎日の生活の中で、いつも感謝の気持ちをもつことが大切。お茶をおいしくいただき、心も体も健康に保ちましよう」と笑顔で話しました。

「館長トーク」では、長沼あけみ館長が天鏡閣館内を案内。天鏡閣にまつわる歴史や調度品に仕込まれた巧みな技法など、天鏡閣をより深く、楽しく紹介しました。長沼館長は「3年間に渡って開催されたデステイネーションキャンペーンを通じて、地域に眠っている観光素材の磨き上げをすることができた。この取り組みを一過性のものにするのではなく、これからも継続して実施していきたい」と話しました。

まちの応援マガジン いなわしろ

広報猪苗代

Jun.2016
7
No.669

今月の表紙



【撮影日】 6月21日
【撮影場所】 長瀬小学校

- 02 Pick Up
- 03 いなわしろ天のつぶをPR／GO OUT CAMP 猪苗代
- 04 日本遺産にダブル認定
- 08 国保のおはなし
- 10 まちのわだい
- 12 笑顔でこんにちは／絵画展ゆかいな魑魅魍魎たちⅡ
- 13 スクールトピックス
- 14 いなわしろタウンページ
- 18 暮らしの情報広場
- 20 みんなの美術館／食生活改善推進員コーナー